

実践的な訓練を通じた警察と関係機関との連携

平成 2 6 年 1 1 月
警察庁

実践的な訓練を通じた警察と関係機関との連携

- 管区警察局や都道府県警察が主催し、被災者の避難誘導や救出救助等に関する訓練を定期的に実施。
- 訓練は、事前にシナリオを示さない「ブラインド方式」を採用。伊豆大島や広島における土砂災害等の状況を踏まえ、有識者の知見を活用した「建物訓練ユニット」等を使用。
- 消防、自衛隊、DMAT等関係機関との連携強化も重要な課題。
現地調整所における連携要領の確認や現場における活動調整等を実施。

【訓練の状況】〔東北管区(9/16・17)、中部管区(10/7・8)〕

〔①活動調整訓練〕



〔②ユニットによる訓練〕



〔③土砂災害対応訓練〕



〔④負傷者の救護訓練〕



〔⑤土砂災害対応訓練(車両埋没)〕



〔⑥消防と合同デブリーフィング〕

